



ハーモニー

生徒会役員交代

前回の「ハーモニー No20」で、「げんチャレ」実施の紹介をし、新生徒会役員が頑張っていることをお知らせしましたが、今回は、少し前、12月24日(火)にあった新旧生徒会役員の交代式のことを紹介します。インフルエンザ等の感染症対策で音楽室からリモートで行いました。新生徒会執行部から旧生徒会役員に感謝状を贈呈した後、新生徒会役員に対して期待を込めたメッセージをもらいました。



【メッセージ】

- ・新委員長、副委員長の皆さん、就任おめでとうございます。私たちは1年前の今日、皆さんと同じ立場に立っていました。その時は楽しみな気持ちもあったけど、不安な気持ちもありました。きっと皆さんも同じ気持ちだと思います。ですが、不安な事を考えているヒマはありません。委員会の仕事や行事の大事な役割が待っています。生徒会執行部と先生方から選ばれた皆さんならきっとやってくれると思います。自信を持って頑張りたいと思います。旧生徒会役員一同で応援しています。
- ・そして、これまで支えてくれた全校生徒の皆さん、今までありがとうございました。



その後、新生徒会四役から新生徒会役員に任命書の授与が行われました。12ある各種委員会の委員長と副委員長の合わせて24名に授与されました。その後代表して学級委員会委員長があいさつをしました。

【メッセージ】

- ・今回、学級委員長を務めることになりました。他の委員会の委員長・副委員長、そして生徒会執行部と協力しながら学校を引っ張っていきけるよう努力していきます。充実した学校生活は1人1人の努力によって創り出されるものです。一生懸命に頑張ります。みなさんのご協力をよろしくお願いします。

新入生入学説明会

2月3日(月)の午後に行いました。新生徒会役員が中心となり、駐車場から体育館までの案内、受付、会場整理から、開会後の説明まで、自分たちで考え、小学校6年生の児童と保護者の皆様に分かりやすく伝えるように工夫をしていました。体育館での全体説明の後、各小学校のクラスごとに新生徒会役員が校内を引率し、説明を加えていました。来年度は、今年度よりも生徒数が増加する見込みです。さらなる「青春開花」が期待されます。



「^{であ}出会い、^{ころわ}ふれあい、心の輪」

内閣府では、「障害者週間」の取組の1つとして、毎年、障害及び障害のある人をテーマとした「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」を全国から募集しています。そして入賞作品を収めた作品集(冊子)が全国の学校に1冊ずつ配られます。障害を理由とする差別や障害のある人への偏見をなくし、社会的障壁を取り除く事は、「共生社会」を実現する上で大変重要です。この作品集が、「心の輪」を大きく広げ、差別や偏見のない社会づくりのきっかけになれば幸いです。

【内閣府特命担当大臣のメッセージより抜粋】

熊本県の生徒の作品を紹介します。

中学生区分優秀賞

「^{えがお}笑顔であふれる^{せかい}世界」

熊本県氷川町立氷川中学校二年

「宇宙人みたい！」

小学生の頃、友だちと遊んでいたら、突然このような事を言われました。私は一瞬間何と言われたのか理解が出来ませんでした。少し時間が経ち、何を言われたのかやっと理解が出来ました。私は生まれつき左手の中指がありません。自分が小さい時はあまりその事を理解できていなかったのも何とも思わず過ごしていました。でも小学生になって、周りから手の事について何か言われていると感じるようになりました。それを母に話すと、学校で少し時間をとってもらってみんなの前で私の手の事について話してくれました。でもその話をしてから、「手、見せてー！」と言われるようになりました。私は手を見せるのが嫌でした。だから話をそらしたりしてなるべく手を見せないようにしていました。

そんなある日、友だちに言われたのが、「宇宙人みたい！」という言葉でした。すごく悲しかったです。小学生の低学年の間はそのような事が続き、辛い日々でした。高学年になると手の事について言われる事は少なくなったけれど、リコーダーなどが始まって左手の指が一本ないから不便だったし、隣の人と手の動きを確認する時間等があって、とても嫌でした。習字の時も、左手で紙を押さえておかないといけないから、できるだけ誰にも見られないようにして書いていました。とても仲がいい友だちには普通に手を見せられるけれど、あまり親しくない人には見られたくないと感じ、たまに「左手がちゃんと5本あったらどんな感じなのかな？」と思ったりする事もありました。でもそういう事を母に言うと産んだ方が悪いと言っているようになってしまう気がして、あまり言えませんでした。中学校を卒業するまでは、ほとんど小学生のころから一緒の人しかいないから、そんなに不安ではないけれど、高校から先は不安でいっぱいです。でも周りには支えてくれる人たちがたくさんいてくれるから、そういう不安に負けずにがんばりたいです。

「宇宙人みたい」

たったその一言で人は傷つきます。でも、支えてくれる人がいると、笑顔になる事ができます。私も、これまで支えてもらった分、誰かを支えていけるといいなと思います。

